



## 2016年 聖霊降臨 親愛なる姉妹、友人の皆様



今年も聖霊降臨の祝日に聖霊が新しい命とエネルギーを皆様に齎してくださいように！

私たちの生活の中で神の霊がくださる素晴らしいプレゼントについてあれこれ考察することによって世界中に広がっている異なった文化や言語をもつ国々と一つになるチャンスが与えられます。聖霊降臨というのは扉を開き、私たちの人生やミッションのあらゆる場面で聖霊に息吹いていただく時です。

いつくしみの特別聖年にあたり、教皇フランシスコはすべてのカテドラルがひとつの特別な扉、「聖なる扉」を準備するよう求められました。この「聖なる扉」はイエスが全人類のために開かれ、新しい救いと永遠の命への入り口を意味します。人々と出会うために神がなさった最も優れた業、神のいつくしみに招き入れられることを扉は象徴しています。いつくしみは「神と人類を繋ぐ橋であり、私たちの罪深さにも拘わらず永遠に愛されているという希望を持ち続けるよう心を開いてくれます。」（「神のいつくしみのみ顔」2）



聖霊降臨の福音の中で(ヨハネ 20、19—23) 「部屋の中のすべてのドアは閉められていた。」と述べられています。死者の中から復活した夕べに現われたイエスは、不安と恐怖に震えながら扉の後ろに集まっている弟子たちを見ました。弟子たちは隠れており、扉の外にあるものから守られたいと望んでいたのです。しかしイエスは閉じられた扉を無視して入ってこられ、彼らの間に立ちました。イエスの最初のことは 「あなた方に平和」 でした。

扉というのはプライバシーを守るためにも、また人々を歓迎するためにも使われます。或るときは人々を外に締め出すため、またある時は人々を歓迎して持てなすために使われます。扉というものは監禁のための場所あるいは聖なる場所 を作り出すものです。 歓迎や安全を表わすと同時に投獄や恐怖をも示します。 弟子たちの極度の恐怖のため扉は閉じられていました。

イエスは閉じられた扉を通り抜けて、神のいつくしみを世界に伝えるという使命を弟子たちに与えました。弟子たちの使命はイエスの使命と同じです。弟子たちはイエスがなさったことを続けなければなりませんでした。いつくしみの特別聖年の間、聖なる扉を通り抜けて教会に入るだけでなく、教会の外に出かけて神のいつくしみを人々に述べ伝えるという使命を続けるよう、教皇フランシスコは私たちに招きます。

教会から出かけていき、神のいつくしみを人々に示す用意が出来ていますか？

聖霊の促しを受けて、ニコラ・バレは初代の姉妹たちにお互いのドアを開いて受け入れ合うよう招きました。これによって会の中に最初の共同体が生まれたのです。聖霊の力と促しこそが、初代の姉妹たちの生活と宣教の源泉であるとニコラ・バレは深く信頼していました。初代の姉妹たちがいつでも聖霊の促しに心を開いているように、ニコラ・バレはこの小さな共同体の陣頭指揮を聖霊に執っていただきたいと強く望んでいました。あれから 350 年たった今、あの小さな共同体が、私たちが知っているこのような会に成長し発展してきたと、誰が想像できるでしょう！今まで聖霊の業であり続けてきましたし、今もそうあり続けようとしています。神の摂理に信頼し、私たちがお互いに受け与える愛とサポートにも信頼をおいているので、歴史におけるこの時、私たちは会の中でひとつの共同体を形成しているのだと今までも増して自覚しています。会はひとつの共同体です。この共同体は他の人々——友人、仲間、会の精神に心を惹かれていた人々、また会の生活、宣教の一部あるいは全てを分かち合いたいと望む人々——に向かって扉を開き続けます。

聖霊降臨の日、イエスは弟子たちを新しい命で満たし、新しく造り替え、霊の命を与えました。神は私たちを教会と会におけるひとつの共同体に作り上げられました。そして世界に命と愛を運ぶ道具にしました。しかし教会と会を、単なる善意の人々の集まり以上のものにしていくのは、私たちに注ぎ込まれる神の息吹、神々しい音色と共に注がれる息吹です。

聖霊降臨の祝日は私たちの生活の中に存在する目に見えない、計り知れない神の現存を祝います。

- 福音の業である正義といつくしみを実践するよう私たちに駆り立てて下さる霊
- 神のみ旨を私たちの意志にして下さる霊
- 私たちの壊れた世界に命と愛を運ぶために、私たちの中に生き変容を促して下さる霊

私たちの魂が愛に生きるよう神は聖霊を吹き込みます。神は私たちの心と精神に「火」を灯します。こうして私たちがすべての物の中に神を見出し、神の国の到来のために全面的に参加できるように。最初の聖霊降臨の夕べ、イエスが彼らの間に立ったとき、恐れおののいていた弟子たちは喜びに満たされました。イエスはそこで彼らに使命を与えます。「おん父が私をお遣わしになったように、私はあなた方を遣わす」(ヨハネ 20, 21) 私たちの生活の中にイエスが存在して下さると、そこにはいつも平和と喜びが伴います。



私たちも平和と喜びを通して宣教の精神を輝かせます。言葉と模範をもって私たちは他の人々とこれを分かち合います。聖霊の賜物は私たち自身のためだけではありません。皆で分かち合うものです。聖霊の賜がくってからというもの、弟子たちはそれまで与えられていた贅沢三昧な部屋に留まろうとしませんでした。彼らは扉を開け放って出かけます。神がどれほど一人一人を愛して下さっているか、またどれほどこの愛を皆が体験することを神が望んでおられるかを世界に告げるために出かけます。

聖霊は私たちのドアを開けて福音の良きおとずれを告げ、証しするために出かけるよう駆り立てます。信仰の喜び、「神のいつくしみのみ顔」であるキリストと出会う喜びを伝えるために。聖霊は私たちに遥かかなたを見るよう、また隅々の人々に目を向けるよう促します。イエス・キリストにおける命を告げ知らせるためです。

今日、あなたはいくつのドアを通り抜けるでしょうか？おそらくあなたは誰かを迎え入れたいでしょう。あるいは閉めきっているドアが開かれるのを待ち望んでいるでしょう。どうか聖霊が私たちの生活の中で閉めきっている扉を開けてくださいますように。多くの恐怖と不安、多くの排斥と離別があふれているこの世界において、私たちの日々の生活における開け放した扉がキリストの平和をはっきり語りますように。

聖霊降臨のお祝いにあたり新たな力、喜び、熱情が、皆様の上にありますよう、公子、マリア、ノーリーンと共に祈りいたします。

愛と平和が皆様と共に  
マリ

